

OSIFA

大網白里市国際交流協会

OamiShirasato International Friendship Association



つばさ 22

2018 June

CONTENTS

頁

- 01 大網白里市国際交流協会総会
 - ・レポート
 - ・会長挨拶
 - ・市長ご祝辞
- 04 平成 30 年度協会役員名簿
新任理事紹介
- 05 平成 30 年度事業計画
- 06 平成 29 年度実施事業
- 07 語学講座案内
グローバル・カフェ
- 08 会員募集・協会案内
編集後記



発行 大網白里市国際交流協会
 事務局 大網白里市教育委員会
 生涯学習課内
 ☎ 0475(70)0380
 Fax 0475(72)9115
 URL: <http://osifa.jimdo.com>

第 25 回大網白里市国際交流協会総会

平成 30 年 5 月 27 日（日）大網白里市中央公民館にて、平成 30 年度定期総会が開催されました。総会には、大網白里市長 金坂昌典様、大



田村会長挨拶

網白里市教育委員会委員会教育長 小高實様、生涯学習課長 齋藤隆廣様、茂原市国際交流協会副会長 古作俊夫様、鎌田国雄様、東金国際交流協会副会長 佐藤健二様合わせて 6 名の

来賓にご臨席頂き、会員 38 名が出席して盛大に挙行されました。

田村会長による開会の挨拶に引き続き金坂昌典市長からご祝辞を頂き、来賓一人一人の紹介の後、議事の審議に入りました。

昨年度の事業活動報告、収支決算報告、監査報告の承認の後、本年度の事業計画案、収支予算案、規約改正と組織変更案、そして理事と役員を選任案と合わせて 7 議案を質疑応答も経て全会一致で承認し、総会を終了しました。



金坂市長ご祝辞

総会終了後は、引き続き講堂にて、来賓の方々も交えて、ミニパーティーを開催し、しばし歓談と交流を楽しみました。





＜田村隆文会長の挨拶＞

協会総会



皆さん、こんにちは。本日は平成 30 年度第 25 回大網白里市国際交流協会の総会に当たりまして、多数の皆様のご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、大網白里市長 金坂昌典様を初めといたしまして各方面より多数の皆様のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、協会のこの 1 年を振り返ってみますと、大変充実した 1 年間であったと思います。

昨年 6 月には城西国際大学から 6 名の留学生を迎えてホームステイを実施いたしました。9 月に実施しました大網白里市主催の総合防災訓練は白里小学校を本部として実施されましたが、私達協会のブースも本部近くに設置して「やさしい日本語」による避難についてのパンフレット・リーフレットを訓練参加者に配布すると同時に口頭で説明も実施しました。また、参加した会員も緊急携帯電話のかけ方や、携帯消火器の使い方、携帯 AED の使い方 の実地訓練に参加して緊急時のための貴重な体験となっています。

11 月に実施しました城西国際大学との交流会では、日本に来て間もない留学生が大変流暢な日本語で言葉や文化や習慣の違いを乗り越えて日本社会を理解しようとする素晴らしいスピーチをいただきました。協会側からは日本文化のおもてなしの代表格であるお茶の作法について、会員家族のプロの先生によるご指導をしていただきました。参加した学生達は、インターネットやフェイスブックで見た事はあるが、実際に体験したのは初めてで大変感動しておりました。

本年 1 月に実施しました国際食文化交流会は、約 115 名の参加者があり、参加した国別料理は昨年より 2 ヶ国増えて 7 ヶ国となり、大変楽しい国際食文化交流会となりました。また、今回は、特に千葉テレビにより番組撮影がありましたが、この番組は千葉テレビが県内各市町村に出向いて当該市町村の歴史や文化、特産物、イベントを紹介する番組で、今回は大網白里市に来ていただいて国際食文化交流会を通じて大網白里市の歴史や文化、特産物、イベントを紹介していただきましたので、大網白里市を広く知っていただくためにも大変意義のある国際食文化交流会となりました。

次に通年で実施しております事業として、日本語教室があります。日本語教室は発足して 2 年半を過ぎ、一定

の評価と学習者の要望を踏まえて、この4月より、月2回から3回に変更し、曜日も水曜日から土曜日に変更して実施しています。また、昨年の11月から、グローバル・カフェも運営しておりますが、これは、以前、市が在住外国人にアンケート調査を実施した時に、地域の皆様と交流する場が欲しいとの要望が多くあったことから、多文化共生事業の一環として月1回運営しておりますが、大変好評でございます。

以上が、昨年度の事業と継続事業ですが、事業の概要について説明させていただきました。更に、この5月11日（金）から12日（土）まで、千葉県が誘致している台湾からの19名の高校生による訪日教育旅行のホームステイについて大網白里市に受入要請があり、国際交流協会が17名、観光協会が2名を受け入れております。

最後になりましたが、国際交流事業や公益性のある多文化共生事業の推進の多くは、行政や会員各位の皆様の力によって支えられておりますが、事業を運営する協会は、公的機関や営利団体でもなく、NGO法人、NPO法人でもなく、純然たるボランティア組織でございますので、今後とも、より一層の皆様の暖かいご支援、ご協力をお願いしたいと思います。

本日は、新年度事業計画について第7号までの議案を提出してございます。皆様の慎重なご審議をお願いして開会の挨拶といたします。

<金坂昌典市長のご祝辞>



皆さん、おはようございます。

ご紹介頂きました大網白里市長の金坂でございます。

本日は、大網白里市国際交流協会の第25回通常総会が盛大に執り行われますことをお祝い申し上げますとともに、お招き頂きましたことに感謝申し上げます。また、皆様には、通常より本市の国際交流の推進に絶大なるご支援ご協力を頂いており、特に、貴協会が主催されます国際食文化交流会、そして城西国際大学留学生交流会などは、恒例行事としてしっかりと定着しており、本市や近隣都市町にお住いの外国人の方たちも大変楽しみにしていると伺っております。

また、先程、田村会長からもありました通り、去る5月11日から12日にかけて千葉県が誘致している訪日教育旅行のホームステイ、こちらでも本市で初めて受け入れることになりましたが、台湾から来日した高校生19名の内17名を、田村会長を始めとする国際交流協会の方々にホストファミリーとして受け入れて頂きました。ホームステイした台湾の生徒の皆さんも大変喜んでいただいておりますし、また、翌日の別れの朝には、涙 涙 だったという風にお話を伺って、本当に素晴らしいことではないかと思います。皆様のご協力に対して厚く御礼を申し上げます次第です。

市と致しましても、今後も本市にお住いの外国人の方々が、「住みたい住み続けたい」と思える街づくりに向けて、コミュニケーション支援、生活支援など環境の整備の充実に努めてまいりたいと考えておりますので、国際交流協会の皆様におかれましても、引き続き多文化交流及び訪日外国人支援に対しましてご協力賜りますようによろしくお願い申し上げます。

結びに、大網白里市国際交流協会のますますのご発展とご在席の皆様のご健勝、そしてご活躍をお祈りしながら、総会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

<平成 30 年度協会役員名簿承認>

平成 30 年度は、理事の改選年度です。平成 29 年度に選任された理事は、平成 30 年度も留任となりますが、新たな理事候補 3 名を含め、下記の通り 14 名の理事と 2 名の監事の選任が承認されました。

役職	氏名	担当委員会
会長	田村 隆文	多文化共生委員長
副会長	古内 早苗	研修委員長、多文化共生副委員長
副会長	橋本 聡二	交流委員長、広報委員長代行、多文化共生副委員長
副会長	平井 杏	日本語教室委員長、交流副委員長
専務理事	戸坂 知子	グローバル・カフェ代表、広報委員
理事会計	村中 正子	交流副委員長
理事	永野 和子	交流副委員長、多文化共生委員
理事	郭 素霞	交流副委員長、多文化共生委員
理事	Paul Conroy	多文化共生委員
理事	戸田 明子	日本語教室副委員長、研修委員
理事	井上千代子	広報委員
理事（新任）	西川 正晃	会計、日本語教室委員
理事（新任）	Shelley Chua	多文化共生委員
理事（新任）	十川 忠知	多文化共生委員
監事	八角 榮子	
監事	小山田光成	
顧問	小川 公延	
参与	中國健二郎	



<新任理事紹介>



十川理事、Chua 理事、西川理事

1) 西川 正晃

- ・平成 22 年入会 日本語教室委員
- ・平成 29 年度 英会話金曜教室長
- ・大網白里市北飯塚在住

2) Shelley Chua

- ・平成 29 年 7 月入会 元インドネシア・在メダン総領事館勤務
- ・平成 29 年大網白里市ながた野へ転入
- ・平成 30 年 4 月 外国人として瑞宝単光章を受勲

3) 十川 忠知

- ・平成 30 年 4 月入会 元総合商社勤務
- ・平成 12 年より大網白里市みどりが丘在住
- ・現在、高齢者の英会話能力の向上を目指す「脳トレ英会話サロン」を主宰

平成 30 年度事業計画 Our activities plan for the fiscal year of 2018

平成 30 年度は、多文化共生委員会、交流委員会、研修委員会、広報委員会、日本語教室委員会の 5 委員会体制にて、下記の通りそれぞれの事業計画に取り組みます。

1) 多文化共生委員会 (Multicultural Society Committee)

- ① 多文化共生推進プラン施策メニュー実施評価と協働推進活動
- ② グローバル・カフェ OSIFA の原則月 1 回開店継続
- ③ 在住外国人の日本語学習支援活動

Global Café OSIFA



2) 交流委員会 (Interchange Committee)

- ① 城西国際大学 (JIU) との交流会活動
留学生交流会開催
- ② 国際食文化交流会



本市及び近隣在住外国出身者との各国郷土料理、食文化を通じての交流会。
平成 31 年 (2019 年) 1 月 27 日 (日) 中央公民館にて開催予定。



3) 研修委員会 (Training and Study Committee)

- ① 国内移動研修
7 月 4 日 (水) に「筑波宇宙センター」の視察と「牛久大仏」の見学を実施予定。
- ② 英会話教室 (教育委員会所属 ALT による)
木曜クラス (第 1・2・3・4 木曜日)
金曜クラス (第 1・2・3・4 金曜日)
- ③ 城西国際大学留学生、訪日教育旅行等ホームステイ受入れ



4) 広報委員会 (Public Relations Committee)

- ① 広報誌「つばさ」(年刊誌) の発行
- ② 協会ホームページの刷新と機能強化

URL: <http://osifa.jimdo.com>



(1) OSIFA HP



(2) OSIFA Japanese Classes

5) 日本語教室委員会 (Japanese Classes Committee)

- ① 公民館事業としての「たのしい日本語教室」月 2 回、第 1 土曜日と第 2 土曜日に開講。
 - ② 当協会独自の事業として、「日本語支援クラス」を第 3 土曜日に開講。
授業内容は、「たのしい日本語教室」では対応できない分野をカバーする。
- * 日本語教室の詳細については、上記 QR コード(2) にて「たのしい日本語教室」(Japanese Class)を読み込んでください。日本語、英語及び中国語にてカリキュラム、時間、場所等が詳しく説明されています。(Read the above QR code (2) to get the details of Japanese Classes in Japanese, English and Chinese.)

平成 29 年度実施事業 Our activities in the fiscal year of 2017.

1) 多文化共生委員会 (Multicultural Society Committee)

- ① 日本語教室運営、日本語指導者の確保等支援活動
- ② 大網白里市総合防災訓練への参加
平成 29 年 (2017 年) 9 月 24 日 (日) 実施
- ③ グローバル・カフェ OSIFA 開店 平成 29 年 11 月から開始。



2) 交流委員会 (Interchange Committee)

- ① 城西国際大学留学生のホームステイ受入れ。平成 29 年 (2017 年) 6 月 10~11 日実施。
- ② 城西国際大学留学生との交流会
平成 29 年 (2017 年) 11 月 18 日 (土) 実施
- ③ 国際食文化交流会
平成 30 年 (2018 年) 1 月 28 日 (日)
中央公民館講堂にて開催。



3) 研修委員会 (Training and Study Committee)

- ① 国内移動研修 佐倉市武家屋敷、旧堀田邸、順天堂記念館、及び千葉県立「房総のむら」見学
- ② 英会話教室 (教育委員会所属 ALT による)
木曜クラス、金曜クラス



- ③ 日本語教室
公民館事業「たのしい日本語教室」
毎月 2 回 水曜日



4) 広報委員会 (Public Relations Committee)

- ① 広報誌「つばさ」(年刊誌) 及び「つばさ通信」(季刊誌) の発行
- ② ホームページの更新維持

*** 語学講座 Language Classes ***

講座名	レベル・内容	曜日	時間	場所
「たのしい日本語」 初級クラス A	初めて日本語を学ぶ人への会話、読み書き	第 1 土曜日 第 2 土曜日	11:00 ~ 12:30	中央公民館 2F 講義室
「たのしい日本語」 初級クラス B	初歩的日本語の会話、読み書き	第 1 土曜日 第 2 土曜日	9:30 ~ 11:00	中央公民館 2F 講義室
日本語支援クラス	初級クラスの補習、ていねいな言葉敬語、業務用語、業務用会話等	第 3 土曜日	10:30 ~ 12:00	中央公民館 2F 講義室
英会話教室	木曜クラス	毎週木曜日 Ex. 第 5 木	14:00 ~ 16:00	中央公民館 2F 講義室
英会話教室	金曜クラス	毎週金曜日 Ex. 第 5 金	14:00 ~ 16:00	中央公民館 2F 講義室

注) ① 「たのしい日本語」及び「日本語支援クラス」の受講資格は、大網白里市在住者、又は在勤者に限定されます。

- ② 日本語支援クラス受講者は、1回につき 300 円（教材費、維持費等）を負担して頂きます。
- ③ 英会話教室の受講資格者は、大網白里市国際交流協会会員であり入室審査合格者に限定されます。
- ④ 英会話教室木曜クラスと金曜クラス両クラスの掛持ち受講はできません。

グローバル・カフェ OSIFA (オンファ)

Global Café OSIFA



「いろいろなくにのひととおしゃべりをしましょう」をキャッチフレーズに、昨年 11 月から月 1 回のペースで、土曜日の午後 1 時から 4 時まで、誰でも好きな時間にぶらりと立ち寄り、新しい出会い、会話、ゲーム、お茶などを楽しむ場を設けることにしました。

以前、市が「外国人市民実態アンケート調査」を行ったときに、在住外国人の方々からの回答に「地域の人達と交流する場が欲しい」との要望が多くあった事から、多文化共生推進事業の一環として実施することにしたものです。在留外国人の方、その家族、日本人一般市民、そして協会員合わせて、毎回 30~40 名の方々が集まり、会話、ゲーム、カード、歌唱等、午後のひと時の交流を楽しんでいます。



会員を募集しています!! Join us and be a member!!

大網白里市国際交流協会は、国際交流活動、多文化共生推進活動を通じて、在住外国人と共に世界に開かれた地域づくりと、大網白里市の基本理念「住みたい住み続けたいまち」づくりへの貢献を目指しています。具体的な活動は、下記の5つの専門委員会が企画する行事に参加することです。是非、入会し、地域づくり、まちづくりを楽しんでください。

* 専門委員会の主な活動 Main activities of the committees

【多文化共生委員会 Multicultural Society Committee】

- ・市と共に「多文化共生推進協議会」を構成し、多文化共生推進プラン施策メニューを実施推進します。
- ・在住外国人を含むすべての市民との交流の場「グローバル・カフェ」を運営します。

【交流委員会 Interchange Committee】

- ・城西国際大学留学生との交流会を開催します。
- ・地域在住の外国人との国際食文化交流会を開催します。

【研修委員会 Training and Study Committee】

- ・バスによる国内移動研修旅行を企画実行します。
- ・城西国際大学留学生や海外からの教育旅行生のホームステイ受け入れをします。
- ・英会話教室の運営管理を行います。

【広報委員会 Public Relations Committee】

- ・広報誌発行とホームページ維持管理します。

【日本語教室委員会 Japanese Classes Committee】

- ・大網白里市在住の外国人のための日本語教室を運営します。

* 年会費 Annual Membership Fee

- ・日本人個人会員 Japanese individual membership 2,000 円
- ・家族会員 (2人以上) Family membership (Two or more) 3,000 円
- ・外国人会員、学生会員 Foreign or student membership 1,000 円
- ・団体会員 Group membership 5,000 円

* 入会申込・問合せ Application and/or inquiry for membership.

大網白里市教育委員会生涯学習課内 大網白里市国際交流協会事務局

Secretariat, OamiShirasato International Friendship Association

c/o Lifelong Learning Division, Board of Education

☎ 0475 70 0380 E-mail: gakushu@city.oamishirasato.lg.jp

編集後記：当協会では、広報誌として、永年、「つばさ通信」（季刊誌）と「つばさ」（年刊誌）を発行してきましたが、経費節減と人手不足対策のため、今年度より年刊誌「つばさ」のみを発行することにしました。

一方、平成26年度から開始したホームページは、代々の編集者の尽力により、その内容が各段に向上し、外部に対する当協会のPR効果は言うまでもなく、会員に対する情報や伝達事項の周知手段としても十分期待できるようになってきました。今後は、ホームページのこの機能を更に高め活用するとともに、広報誌「つばさ」の内容、在り方については、じっくりと検討を進めていきたいと考えています。

広報委員会 編集部